

ケーブルとあわせて楽しむ

歴史情緒あふれる町・坂本の見どころMAP



SAKAMOTO CABLE CAR

2025m

The longest length in Japan



KEIHAN 比叡山鉄道

坂本ケーブル



比叡山とびわ湖の絶景をのぞむ
日本最長2025mのケーブルカー

営業案内

区間 ケーブル坂本駅⇄ケーブル延暦寺駅(約2.0km) 所要時間 11分 定員 140人

■ 運転ダイヤ

期間	初発	運転時刻	終発
3月~11月	8:00	毎時 00・30分発 (多客時は増発)	17:30
12月~2月	8:30		17:00

■ 団体割引

人員	学校団体			
	普通団体	中学	高校	その他の学校
5人以上	修学旅行生割引	2.5割引	1.5割引	—
8人以上	1割引	2.5割引	1.5割引	1割引
25人以上	1.5割引	3割引	2割引	2割引
100人以上	2割引	4割引	3割引	3割引
300人以上	3割引	5割引	4割引	4割引

※団体無賃扱...25人から99人まで1人、100人以上50人までを増すごとに1人加える。

普通運賃

大人/片道960円・往復1,830円
小児/片道480円・往復920円

デジタルチケットのご購入はこちら



交通

- 西大津バイパス「滋賀里ランプ」から約2km
- JR湖西線「比叡山坂本駅」(新快速停車)、または京阪電車石山坂本線「坂本比叡山口駅」から連絡バスあり

連絡バス

- JR湖西線「比叡山坂本駅」から7分(徒歩約25分)
 - 京阪電車石山坂本線「坂本比叡山口駅」から3分(徒歩約15分)
- 運休日/4月13日・14日は山王祭開催に伴い運休となります。
時間/9時頃~17時頃 1時間に2本運転

比叡山鉄道株式会社

〒520-0116 大津市坂本本町4244

TEL.077-578-0531 FAX.077-578-0533 www.sakamoto-cable.jp

坂本観光協会 協賛

公式HP



2026.4現在

www.sakamoto-cable.jp/

駅舎から、車窓から、外から、
 写真をいっぱい撮りたくなる
 日本最長ケーブルカー

▼ケーブルカーを横から見られるポイントも



昭和2年開業の『坂本ケーブル』は、坂本から比叡山延暦寺までの2025mを11分で結ぶ日本一長いケーブルカー。
 坂本ケーブルでは、車窓からのぞむ山あいから見えるびわ湖や、自然豊かな山中を走るケーブルの車体、登録有形文化財にも登録された大正ロマンを感じる駅舎など、写真を撮りたくなるスポットがもりだくさん！
 景色を満喫しながら、ゆったりとケーブルカーの旅をお楽しみください。

延暦寺周辺 観光スポット

ENRYAKUJI AREA



延暦寺



ガーデンミュージアム比叡

ケーブル 延暦寺駅

ケーブル坂本駅と同じく大正14年に建設。洋風鉄筋二階建の駅舎は中も外も大正モダンな歴史を感じる佇まい。こちらも国の登録有形文化財、また「近畿の駅百選」にも認定されています。

駅舎の上から
びわ湖が
見晴らせる！



オススメ絶景スポット！

山のデッキ

ケーブル延暦寺駅の2階と屋上には、比叡山山頂からびわ湖の絶景を見晴らせる展望テラス「山のデッキ」があります。天気の良い日には竹生島まで見渡せることも！



真正面からケーブルが見られるホーム



レトロな配色や大正ロマンたような建築様式がどこか懐かしい駅の内装



ほうらい丘駅からすぐの木立に囲まれたトンネルをくぐり、比叡山をどんどんのぼっていく

中間
ポイント

長いトンネルを
くぐると勾配が
上がっていく

2両が行き違うところが
見られる必見ポイント！

ターンアウト



ケーブルカーは、上り下りを共有する単線のため、中間地点にすれ違い部分があり、これを「ターンアウト」と呼びます。線号と番号がすれちがう瞬間は必見です！

大正ロマン溢れる駅舎や車両も写真映え間違いなし！

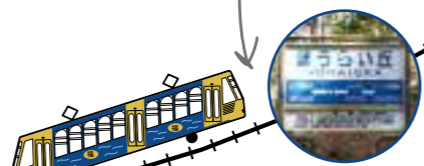


ケーブル 坂本駅

延暦寺の門前町として栄えた坂本からのケーブルのりば。大正14年に建設された洋風木造二階建の駅舎は、建設当時モダンな洋風建築として人気を博しました。1997年に国の登録有形文化財に登録されています。



旧駅名が記された
駅舎入口



ほうらい丘駅

坂本側の中間駅。駅の隣には、建設時に発掘された多数の石仏を安置している霊窟が。信長の比叡山焼き討ちで犠牲になった人々の霊を慰めるため、土地の人々が祀ったものと伝えられています。



霊窟の石仏
(蓬萊丘地蔵)

坂本周辺観光スポット

SAKAMOTO AREA



日吉大社



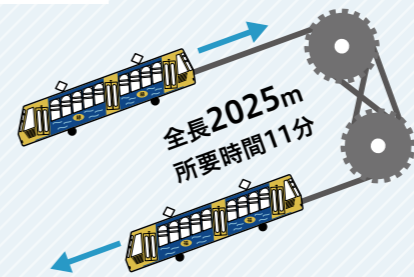
旧竹林院



西教寺

ケーブルカーの仕組み

ケーブルカーとは、急勾配の線路上り下りするため、接続したロープで車両を引き上げる「つるべ式」の線路。車両に乗務しているのは運転手ではなく「車掌」。運転手は、山上のケーブル延暦寺駅で運転操作を行っています。車両は、急勾配に沿う形になっていて、横から見ると平行四辺形。車内もプラットホームも階段状になっています。



ケーブルカーの心臓部にあたる巻上機。モーターが回転すると、原動滑車に動力が伝わり、ロープを巻き上げる



巻上機を操作する運転室

